

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句 : 父と母を敬いなさい (エフェソの信徒への手紙 6:2)

保育目標 : 0歳児	・居心地の良い環境の中で、保育者と安心して過ごす。
1歳児	・安心して、保育者と好きなものを見つけて遊ぶ。
2歳児	・保育者やお友達と好きな遊びをする。
3歳児	・いろいろな遊びを楽しむ。
4歳児	・先生や友だちと親しみ遊ぶ・家の人に守られ育ってきたことを神様に感謝する。
5歳児	・友だちの輪を広げて遊ぶ。・家の人に守られ育ってきたことを神様に感謝する。

進級・入園式から早3週間が過ぎました。新入園の子どもたちは、まだまだお家の方と離れることが難しい場面もありますが、だんだんと笑顔が増えて自分のお気に入りの物や場所などを見つけています。天気の良い日が続き、子どもたちは土や水に触れて少しずつ大胆に活動するようになってきました。その様子から、子どもたちの心がゆっくりと開放されていくのを感じています。

5月は彩りの季節、木々に芽吹いた新緑や道端の草花の鮮やかな色に心が弾みます。(思わずスキップしたくなることも…) 子どもたちが園庭にある草花を使って、自分だけの色作りやお料理の材料にしてご馳走作りを楽しむ姿が見られるでしょう。また、風や光を感じて走ることや散歩に出て行くことも増えるでしょう。自然の中で子どもたちは、自分の五感を働かせてたくさんのことを感じて学んでいます。私たちは、限られた環境の中でより自然体験ができるように…と一昨年より『保育ナチュラリスト』や『木育インストラクター』という自然遊びの研修(資格を取得した先生方は延べ33名になりました)で学んでいます。先日、行われた乳児クラスの懇談会の中のネーチャーゲームにもその学びが活かされています。経験されてみると色や手触り、匂いなど、自然の面白さや不思議さに皆さん出会われたのではないのでしょうか? これからも、学んだことを子どもたちとの生活の中で活かして一緒に思い切り楽しみたいと思います。

この頃になると、新入園の子どもたちも少しずつ新しい環境に慣れてきます。表情(泣くだけでなく)も豊かになり自分の周りの物や人に関心を示すようになってくるのです。私たちは、子どもが指差しをするその先を一緒に見たいと思い、伸ばしてくるその手をそっと包んで受けとめたいと思っています。また一人ひとりの想いを探りながら寄り添い、そばにいて『何をしたいのか』『どうしたいのか』その人がやってみたいと思っていることが実現できるように支えていきたいと思っています。実現できた喜びや満足感は必ず、その人の自信になり園生活の原動力になりますから。そして自分のペースで安心できる居場所を見つけていけるように、時間をかけてやり取りをしながら関わっていきます。どうぞ、お家の方々も焦らず、ゆったりとお子さんを見守っていただきたいと思います。心配なことがありましたら、何でも私たちにお話してください。また、進級の子どもたちも周りの変化に対する不安が少しずつ和らぎ、以前していた遊びや仲間との関わりを楽しむようになっていきます。そして、新しい出会いの中でもだんだんと自分の思いを表せるようになっていきます。私たちは子どもたちが今までの経験を活かして充実した生活をつくっていけるように、一人ひとりの思いに添えていきたいと願いをもって歩んでいます。

保護者の方々も、新しい出会いの中で緊張することや戸惑うこともあるでしょうが、決して無理する必要はありません。ご自分のペースで同じ子育てをしている仲間を増やしていかれるとよいですね。

神さまが創られた自然という素晴らしい贈り物に心から感謝してこれからも子どもたちと共に歩んでいきたいと思っています。

副園長 鈴木 直江

